

令和 3 年 9 月 10 日  
東日本高速道路株式会社関東支社

## トンネル坑内からの調査結果に基づく地盤補修範囲の特定について

平素より、東京外かく環状道路事業にご理解とご協力いただきありがとうございます。  
調布市東つつじヶ丘 2 丁目付近において、地表面陥没や地中の空洞が確認され、外環道沿線にお住まいの皆様にはご心配、ご迷惑をおかけしております。

令和 3 年 3 月に公表された「東京外環トンネル施工等検討委員会 有識者委員会 報告書」に基づき、地盤の緩みが生じている可能性のある範囲を地盤補修予定範囲として、トンネル坑内から調査を実施しておりましたが、この度、調査が完了し補修等の措置が必要となる範囲を特定しましたのでお知らせいたします。

なお、坑内調査結果及び地盤補修範囲については、事前に委員会の各委員へ確認をしております。  
坑内調査結果及び地盤補修範囲については、[こちら\(別紙\)](#)をご確認ください。

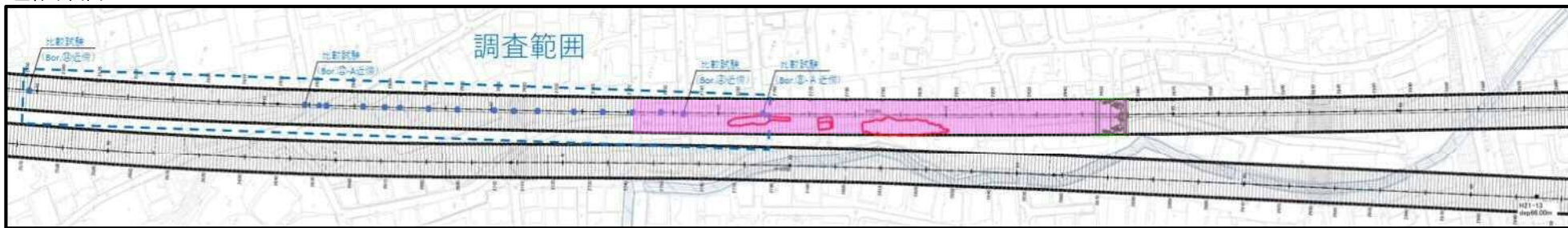
現在、地盤補修範囲の方に、仮移転または事業者による買取等のご相談をさせていただきながら、地盤補修工事の施工方法等の検討を行っております。

今後、これらの検討等を踏まえて、あらためて地盤補修工事について、周辺の住民の皆さまにご説明させていただきます。

坑内調査結果および地盤補修範囲について

全体平面図

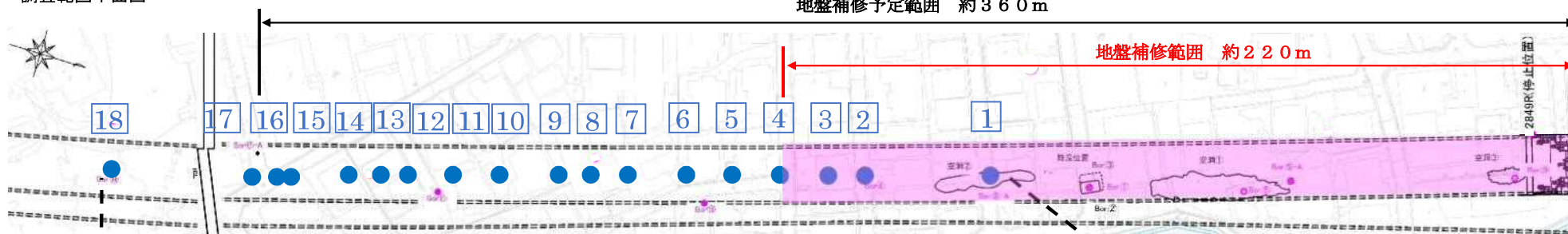
地盤補修範囲



調査範囲平面図

地盤補修予定範囲 約360m

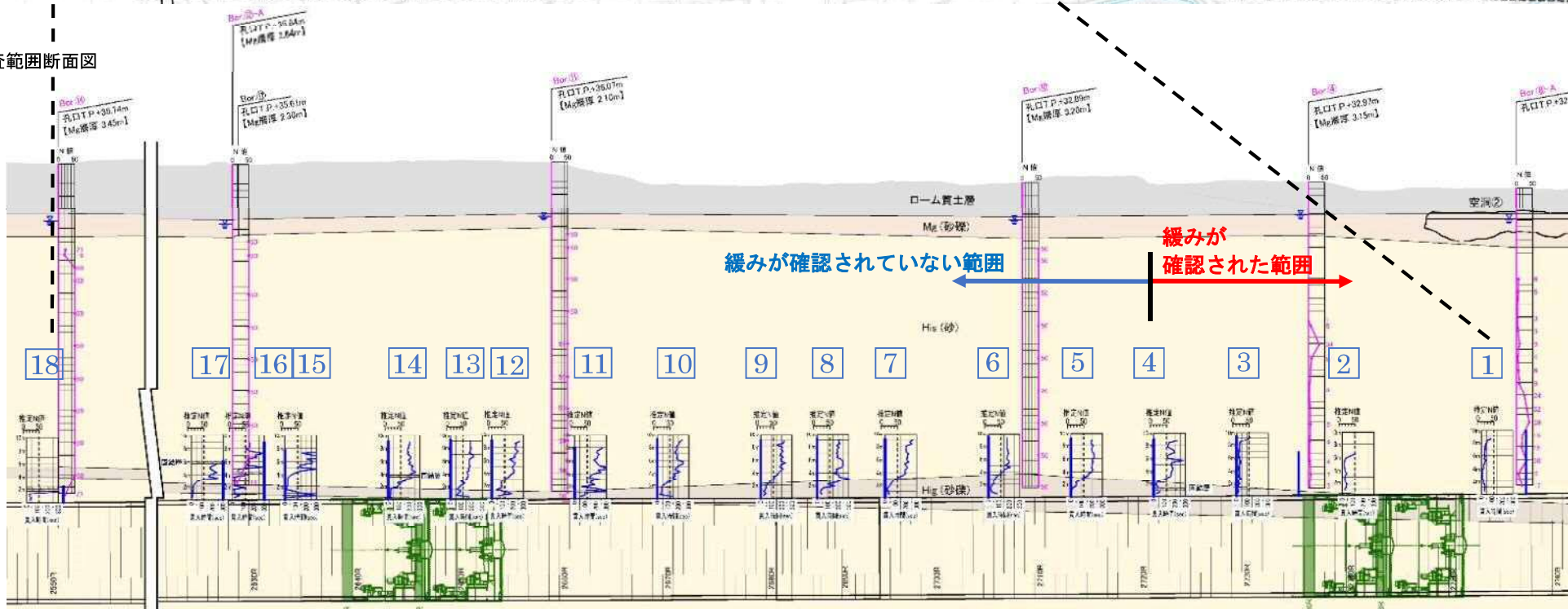
地盤補修範囲 約220m



調査範囲断面図

緩みが確認されていない範囲

緩みが確認された範囲

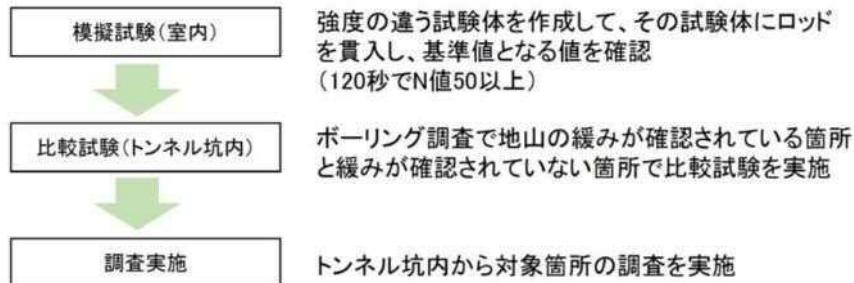


※ 1 2 17 18 は、比較試験調査箇所

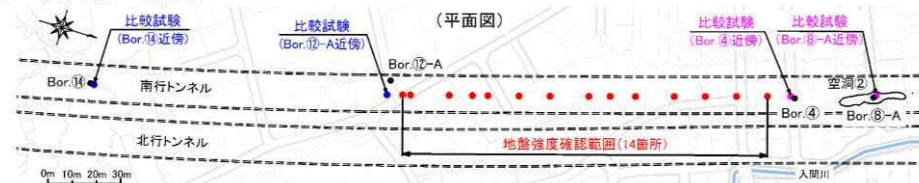
# 坑内調査について

## 【調査の流れ】

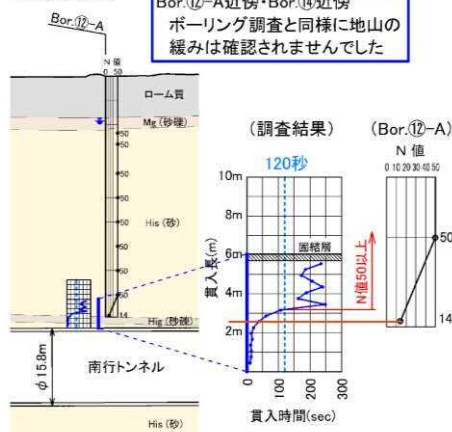
トンネル坑内の天井部からロッド(鉄の棒)を貫入し、そのロッドが30cm貫入されるまでの時間から地盤の強度を確認しております。



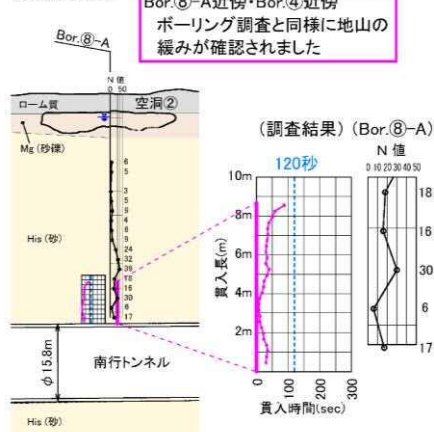
## 【比較試験の結果】



(代表縦断面図) Bor.⑫-A近傍・Bor.⑭近傍



(代表縦断面図) Bor.⑧-A近傍・Bor.④近傍



## 模擬試験(室内)の実施方法《参考》

- ・試験体は、現地と同じ条件となるよう試験体の全面が拘束される状態を再現して作成
- ・試験体の強度は、地盤強度を示すN値11、26、35、58の4種類を作成

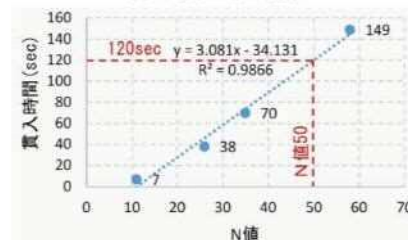
## 【試験中の写真】



## 【試験結果】

N値	孔径	貫入圧	ロッド回転数	貫入時間	
	mm			MPa	mm
11	40.5	4	60	300	7
26				300	38
35				300	70
58				300	149

貫入時間とN値の関係



- ・試験の結果、N値とロッドの貫入時間には、直線的な相関性があることを確認
- ・この結果をもとに、「120秒でN値50以上」と設定